

鳥取県中部地震に係る 鳥取県災害対策本部幹事会会議（第4回）

【日時】 11月4日（金）16:00～

【場所】 災害対策本部室（県庁第2庁舎）

【目標】

①被災者に安心と健康を

②避難の早期解消

1 県の対応状況など

10月21日（金）

14:07（発災同刻） **県災害対策本部設置**

15:05 第1回災害対策本部会議（直近10/25 第7回会議）

16:20～ 災害時緊急支援チーム派遣（倉吉、湯梨浜、北栄）

19:22 自衛隊の災害派遣（倉吉市へ給水）

10月28日（金）

17:00 自衛隊への撤収要請

【災害救助法の適用】 ※10/24三朝町を追加適用

◆県内4市町に災害救助法を適用

（倉吉市、三朝町、湯梨浜町、北栄町）

◆適用日 10月21日（4市町とも）

2 物資等の調達・支援

- 被災市町の食事は継続して手配中（倉吉市、北栄町）
- 離乳食（湯梨浜町）の要請 →対応済
- ブルーシート、固定用ロープ等の配布・敷設準備
→兵庫県、徳島県、熊本県、県内市町村、中国地方整備局、中国知事会、協定業者等から調達。
県職員災害応援隊が支援中（10/22～）
- 倉吉市ボランティアセンター設置のため電話の臨時設置
→NTTと倉吉市社協で詳細調整済み（10/22）
- 避難所の物資ニーズを調査中
→随時対応予定。ストーブほか納品済。

3 り災証明の受付状況 28.11.4現在

鳥取市(10/26～)受付数76件

倉吉市(10/23～)※

三朝町(10/24～)受付数729件(調査済数631件)

湯梨浜町(10/23～)受付数769件(調査済数342件)

北栄町(10/24～)受付数1,495件(調査済数765件)

琴浦町(10/24～)受付数286件(調査済数108件)

伯耆町(10/22～)受付数1件

合計 受付数3,356件(調査済数1,846件)

※ 倉吉市は、住民の届け出により、被災状況調査を実施し、罹災証明願を受付ける方式をとっている。(届出数7,148件(調査済数1,556件)†)

4 目標

◆目標

①被災者に安心と健康を ②避難の早期解消

1 健やかな避難生活に向けて

- ・エコノミークラス症候群への対応 など

2 被災証明書の早期発行

- ・建物被害認定要員の増員配置 など

3 住宅政策

- ・公営住宅や借上住宅の提供 など

5 各部署の対応状況など 元気づくり総本部

(元気な鳥取の情報発信)

● イベントやメディアを活用した元気な鳥取発信

【風評被害払拭大作戦】

- 首都圏・関西圏での観光キャンペーンと連携したPRイベントの実施
- 様々なメディアを活用した全国への情報発信
- 観光宣伝、宿泊サイトへの広告・情報発信・送客要請活動
- 海外からの誘客に向けた情報発信

● 災害被災地応援サイトの充実による情報提供

- 被災者が必要とする情報に合わせ、鳥取県ゆかりの方々からの応援メッセージなど被災者を元気づける情報の発信
(白鵬関、石浦関、蓮佛美沙子、イモトアヤコさんほか順次掲載)
- 各種支援策を掲載(住宅再建、税の減免、ふるさと納税、義援金等)
- 観光地や交通機関等、観光地鳥取が元気であることの発信

(パンフレット等による支援施策の広報)

- 被災者向け、被災事業者向けに各種支援施策を取りまとめたパンフレットを作成し、市町等を通じて配布

市町の施策を追加した改訂版を発行予定（第3版：来週発行予定）

【部数】：1,000部（第1版：10/25発行、第2版：10/31発行）

【配布先】：倉吉市、三朝町、湯梨浜町、北栄町、琴浦町、中部総合事務所、**金融機関**

窓口

【第2版からの変更点(予定)】

- ・市町の支援施策及び連絡先を追加掲載
- ・土業の相談窓口、災害がれき受入窓口等を追加掲載
- ・パンフレットに音声コードを添付し、ユニバーサルデザインに対応（従来はHPの音声読み上げ機能を活用）
- ・配布先に中部の金融機関の各窓口を追加



- 避難生活の留意点や相談窓口、り災証明の説明などを掲載したチラシを作成し、各避難所などに掲示及び配布（随時更新中）
- 広報媒体を使った広報（支援施策、ふるさと納税、義援金等）
 - ・新聞広告（施策広報）11/6（日）日本海新聞、11/8（火）山陰中央新報ほか
 - ・県政だより12月号巻頭特集

総務部（応援職員派遣状況）

1 専門職の派遣

- ・ 土木（宅地危険度判定士） 3名
- ・ 建築（応急危険度判定士） なし ※10/29をもって終了
- ・ 農業土木 3名（本庁、東部、西部各1名と中部農林で点検実施）
※上記以外に鳥取県土地改良事業団体連合会からも1名を派遣
- ・ 保健師 4名（倉吉市へ4名）
※上記以外に岡山県、広島県からも計9名を派遣

2 避難所運営等の行政支援

- ・ 各部局からの動員職員 34名
 - 市町からの要請に応じて避難所運営、罹災証明の受付・申請処理、支援物資の配送、がれき置場の管理等に従事
- （内訳） 倉吉市 : 15名（夜間動員3名含む）
北栄町 : 11名（夜間動員1名含む）
湯梨浜町 : 8名

3 家屋被害認定調査に係る行政支援

- ・ 県税事務所等からの動員職員 4名
 - 市町からの要請に応じて家屋被害認定調査業務等に従事
- （内訳） 倉吉市 : 3名 三朝町 : 1名

総務部（避難所運営支援状況及び ふるさと納税受付体制の状況）

4 避難所運営物資（段ボール）の供給

※災害時における物資供給に関する協定書に基づき、日段(株)に製造供給を要請。

要請受付	市町名	品目及び数量	納品先	対応状況
10/22(土)	倉吉市	間仕切り用段ボール:2,000枚	倉吉市スポーツセンター体育館	引渡完了
10/25(火)	湯梨浜町	段ボールベッド:50床 間仕切り用段ボール:160枚	湯梨浜町役場本庁舎講堂	引渡完了
10/26(水)	倉吉市	段ボールベッド:100床	倉吉市スポーツセンター体育館	引渡完了
	北栄町	段ボールベッド:30床 間仕切り用段ボール:90枚	北栄町役場大栄庁舎	

5 災害支援寄附金の受付

- 10月22日21時から鳥取県への災害支援を目的としたふるさと納税の寄附受付開始。災害支援を目的としたものであることからお礼の品は提供しません。
- 11月4日午後1時現在 482件 3253万円の寄附の申し込みをいただいています。
- 倉吉市、三朝町、湯梨浜町、北栄町においても、
民間のふるさと納税サイト「ふるさとチョイス」で災害復興支援の受付を実施。

地域振興部(公共交通機関の運行(運航)状況)

1 航空関係

国内線、国際線:通常運航

(1) 米子空港

①国内線

- ・10/22(土)以降、ANA国内線は通常運航

②国際線

- ・香港便 10/26(水)以降通常運航
- ・ソウル便 通常運航

(2) 鳥取空港

- ・10/22(土)以降、ANA国内線通常運航
- ・11/2(水)以降、鳥取空港連絡バス(倉吉方面)について、倉吉市内の一部区間(大原橋バス停~大原南口バス停)での迂回運行は、道路の復旧に伴い、通常運行

2 鉄道

- ・10/22(土)始発から、普通列車、特急列車いずれも通常運行。

3 バス(日ノ丸、日交、市町村営バス)

- ・10/23(日) から県内全路線で通常運行
- ・11/2(水)から、倉吉市内の一部区間(大原橋バス停~大原南口バス停)での迂回運行は、道路の復旧に伴い、通常運行

4 隠岐汽船

- ・10/22(土)から高速旅客船、フェリーともに通常運航

公共交通機関はすべて通常運行

※日ノ丸路線バス、鳥取空港連絡バス(倉吉方面)の倉吉市内の一部区間(大原橋バス停~大原南口バス停)での迂回運行は、道路の復旧に伴い、11/2(16時過ぎ)から、通常運行。

地域振興部(文化・体育施設の状況)

1 倉吉未来中心

- ・復旧に最低でも3か月以上かかる見込み
- ・専決により3億8千万円の復旧予算措置
- ・入居者の施設外への移転を開始・準備中
- ・被害の詳細について急ピッチで調査を進めており、11月9日(水)に改修方針を協議予定(県、設計者、施工者)

【被害状況】

- ・アトリウムの吊り天井の一部(約140㎡)が落下、内壁仕上げ材落下(複数箇所)
- ・アトリウムのトラス基礎部分に著しい損傷(事務所側のトラス基礎)等

2 倉吉体育文化会館

- ・体育館は復旧まで利用中止(数か月程度が見込まれる)
- ・会議棟は給水管で新たな破損が見つかり、10月31日以降、営業しながら並行して修繕を進めていく。

【被害状況】

- ・体育館 90cm四方の天井板が30数枚落下、外回り高窓ガラスが破損・落下、1・2階部で軒天井仕上げ材等破損落下など
- ・会議棟 屋上高架水槽破損により漏水(水道の使用不可)など

※前回報告時(11/2)から特段の状況の変化なし

- ・倉吉未来中心は、被害調査を進め、11/9に改修方針を協議予定
- ・倉吉体育文化会館の会議棟は10/31から開館しているが、営業しながら並行して給水管を修繕していく予定

注)2施設とも倉吉市の避難所の指定となっているが、安全確認がされるまで閉館

地域振興部(国立大学、私立学校、各種学校の状況)

※前回報告時(11/2)から特段の状況
の変化なし

※私立中・高、各種学校については
H28年度10月補正予算(専決処分)
により順次復旧に着手予定

1 私立学校の授業等

- ・倉吉北高校及び湯梨浜学園高等学校・中学校は、10/25より通常授業
- ・生徒の心のケアのため、

倉吉北高校には10/25、26、28日に敬愛高校から1名

湯梨浜学園には10/25～28日に城北高校から1名

スクールカウンセラーを派遣(10/31以降も当面2週間程度派遣の予定)

2 被害状況(10/26から変更なし)

施設	被害状況等
倉吉北高等学校	体育館壁プレス、校舎防火扉損壊等
湯梨浜学園高等学校・中学校	校舎屋根瓦、体育館、防火扉損壊等があり、大掛かりな修理が必要
鳥取看護大学・鳥取短期大学	エレベーター外壁に亀裂、階段・通路の破損等があり、エレベーターを中心に大掛かりな修理が必要
岡山大学惑星物質研究所(三朝町)	棟内各所の壁にひび割れ、配管、ドア及び基礎コンクリートの破損等
鳥取県自動車学校(倉吉市西倉吉町)	教室、食堂のエアコン脱落、食堂の天井脱落、基礎破壊等があり、大掛かりな修理が必要
鳥取県倉吉自動車学校(北栄町)	校舎壁や天井、ガラス、ドアの破損多数、亀裂等があり、大掛かりな修理が必要
鳥取県中央自動車学校(倉吉市福庭町)	玄関入り口階段破損、一部天井脱落、校舎内壁亀裂等
倉吉予備校	校舎壁、床にひび割れ

3 今後の対応

私立中・高、各種学校については、平成28年度10月補正予算(専決処分)等により順次復旧に着手予定

地域振興部(被災市町への市町村職員応援)

人員がひっ迫する業務等に関して、速やかに職員が派遣できるよう、引き続き関係機関と連携し、調整に当たっていく

1 被災市町への職員応援体制

- ・**県市長会及び県町村会と連携し、市町村職員の派遣支援体制を23日(日)に整備し、職員派遣の調整を実施中。**

※保健師派遣等、他に職員派遣に係るルートがあれば、そちらを優先

※職員派遣情報は関係機関で共有

- ・**県町村会では、今後の状況に応じて、徳島県町村会など近隣の町村会へ応援要請を行うほか、全国町村会へ応援要請を行うことも検討中**

- ・**人員がひっ迫する罹災証明書発行業務等に関しては、生活環境部、総務部等関係部局と連携し、各市町において必要となる人員が迅速に確保できるよう対応していく。**

2 被災市町村への応援状況(11/3まで)

(市長会・町村会ルート)

- ・避難所運営、BCP(通常業務の継続)に必要な人員等として県内市町村から延べ**243**人(人日)を派遣

派遣元	派遣人数(人日)(累計)			
	倉吉市	湯梨浜町	北栄町	三朝町
鳥取市	76	74		2
米子市	57	53		4
境港市	14	14		
岩美町	11		3	8
若桜町	10		2	8
智頭町	14		3	11
八頭町	15		2	13
大山町	10		2	8
南部町	4		4	
伯耆町	9		4	5
日南町	2		1	1
日野町	16		2	14
江府町	5		4	1
合計	243	141	27	47

(その他)

- ・専門業務(保健師、被災構築物応急危険度判定、被災宅地危険度判定、下水技術者等)について、県庁各課を窓口として、県内市町村から延べ**190**人(人日)を派遣

今後の対応

- 罹災証明に係る現地調査業務については、関西広域連合及び中・四国知事会に応援要請。
- 罹災証明に係る現地調査業務以外(罹災証明窓口業務やBCP(通常業務の継続)に必要な人員等)については、引き続き、市長会・町村会に応援要請。

※被災市町からの要請を随時受け付け、速やかに市長会・町村会へ伝達するとともに、調整・決定状況を速やかに被災市町へ伝達。また、それらの状況について、毎日、関係機関と情報共有。

<罹災証明に係る現地調査業務以外の要請・対応状況>

平成28年11月3日時点

団体名	要請状況		対応状況
	要請人数 (1日あたり)※	要請内容	
倉吉市	19	○罹災証明窓口業務やBCP(通常業務の継続)に必要な人員については、当面、市職員で対応。 ○避難所運營業務の応援等について要請を受けて対応中。 【要請業務及び期間】 ①避難所運營業務: 10/26~10/31(14人)、11/1~11/3(8人)、11/4~11/6(6人) ②農林土木技師と建築技師: 10/26~11/8(5人)	①県市長会で調整済 ②県市長会で調整済
湯梨浜町	14	○BCP(通常業務の継続)に必要な人員について要請を受けて対応中。 【要請業務及び期間】 ①罹災証明業務に係る全体調整: 可能な日~2週間程度(1人) ②予防接種、国保、介護、税等: 可能な日~2週間程度(7人) ③都市計画関係業務(各種許認可等): 可能な日~1か月程度(2人) ④水道技術者: 可能な日~1か月程度(2人) ⑤図書館業務、補助金、出納業務等: 11/1~11/14(2人)	①別ルート(危機管理局)で調整済 ②~③県町村会で調整中 (11/18までの一部(1~4人)は調整済) ④調整中 ⑤県町村会で調整済
北栄町	7	○BCP(通常業務の継続)に必要な人員について要請を受けて対応中。 【要請業務及び期間】 ①教育、水道、国保関係業務: 10/26~11/6(3人) ②教育、介護、国保、税務、水道等: 11/7~11/30(7人)	①町村会で調整済 ②町村会で調整済(要請内容の変更に伴い11/7~18、2~4人で派遣決定)
三朝町	5	○罹災証明申請受付事務に必要な人員について要請を受けて対応中。 ○また、瓦礫置場搬入受付事務について要請を受けて対応中。 【要請業務及び期間】 ①罹災証明申請受付事務 10/27~当面の間 ②瓦礫置場搬入受付事務 10/27~当面の間 (①②合わせて5人)	①②町村会で調整中 (11/11までは調整済)
4市町計	45		

※「要請人数(1日あたり)」は、現在要請を受けている中で1日あたりの人数が最大となる日の人数を記載している。
 ※上記の他、保健師等の専門職種について、県庁各課が窓口となり派遣要請に対応している。

観光交流局（今後の取組）

今後の取組

平成28年11月4日14時現在

①国内

【「とっとりで待っとり(鳥)ます」PR】

○今後の観光風評被害払拭のために、引き続き復興観光キャラバン等を実施し、「鳥取県は安全である」ことを国内外に向けて情報発信するほか、旅行代理店への働きかけなど順次対策を行うこととしている。

【復興観光キャラバン等の実施】

- ・県(11月2日、7日(東京・名古屋)、11月10～11日(岡山・広島))
- ・中部観光推進機構(11月8～10日 東京・名古屋・大阪)
- ・刈谷ハイウェイオアシスでの観光PR(11月5日～6日愛知県刈谷市)
- ・かにカニ日帰りエクスプレスのお出迎え(11月7日倉吉駅)
- ・11月7日の松葉ガニの初水揚げに合わせたイベントでの情報発信等

【風評被害払しょくのための情報発信】

- ・宿泊客にSNS等で「とっとりいいね発信！」をしてもらうためのプレゼントキャンペーン実施(準備中)
- ・復興応援ポスター「鳥取は元気です」(県作成)のデータ配布
- ・WEB宿泊予約サイトを活用した情報発信

楽天トラベル、じゃらん、るるぶトラベルのトップページへのバナー貼付やバナー広告などの個人旅行者向けプロモーション(11月14日(楽天トラベル)から順次スタート)。



②国外 各地域での報道は、10月23日以降はほとんどなされていない。韓国についてはエアソウル便に、キャンセルが生じているため、航空会社と連携したキャンペーンを強化。

福祉保健部の対応状況

1 健康支援対策

(1) 在宅支援

① 保健師の支援体制

鳥取県・広島県・岡山県からの派遣チーム(5班・12人)が倉吉市で活動

・高齢者・障がい者・乳児等の訪問や電話連絡を実施中。

※鳥取県は倉吉市の後方支援を継続中。

※各市町の保健師が要支援者の支援を継続中。

② 今後も継続して必要な対応

・余震や生活再建への不安を訴える者、慢性疾患の病状等心身の健康に対して支援。

・地域の関係者が把握した車中泊者のエコノミークラス症候群の予防を含めた支援。

・精神障がい者等不安定な者に対する支援 → 専門職へつなぎこころのケアを対応中。

・感染症、生活不活発病等の予防などを引き続き周知。

⇒自治体役員や民生委員と連携し、支援を継続中。

⇒継続訪問並びに支援の必要な者に対して、随時、協力機関につないでいる。

③ その他: 乳幼児健診等通常の保健事業も徐々に再開

福祉保健部の対応状況

(2) 避難所支援

① 各市町保健師が巡回

- ・精神保健福祉センター原田所長が被災者のこころのケアに適時対応中

② 協力機関の支援状況

◆ 鳥取看護大学

⇒ 11/01の感染制御支援ネットワークの巡回を受けて活動

⇒ 11/4(夕方)～避難所において、健康教育講座を開始(個人のできる感染予防10分程度)

(実施予定箇所)

- ・7カ所(社、上小鴨、倉吉養護学校、成徳、明倫、上灘、河北中)で実施予定

(健康教育講座の内容)

- ・手洗い、マスク、咳エチケットについて
- ・体調不良の際には避難所の管理者へ報告すること 等

◆ 鳥取県歯科医師会チーム

⇒ 11/10に成徳小、明倫小、上灘小、河北中、高齢者福祉センター、北条健康福祉センターの避難所で長期化する避難者への口腔ケアを実施予定

◆ JRAT 生活不活発、リハ、軽運動等の指導 (延べ11名の理学・作業療法士等) 10/31一端、終了

⇒ 倉吉、北栄の避難所を再度巡回(11/4午後調整)

◆ 鳥取県看護協会災害支援ナース 倉吉市、北栄町の避難所で活動中(24時間体制)

⇒ 北栄町は避難所閉鎖まで継続派遣予定

福祉保健部の対応状況

2 「平成28年鳥取県中部地震災害義援金」の募集中

○受付期間 平成28年10月25日(火)から平成28年11月25日(金)まで

○実施方法

(1)募金箱の設置 鳥取県共同募金会、NHK鳥取放送局、県庁(県民課)、各総合事務所地域振興局、
県立図書館、県立博物館、県外本部等
※現在、山陰合同銀行、鳥取銀行の各店舗窓口に募金箱を設置していただくよう、調整中

(2)口座振込み 日本赤十字社、共同募金会、鳥取県の各指定口座

(3)現金書留による送金 鳥取県共同募金会あての現金書留は手数料無料

【災害ボランティアセンター設置・活動状況】

市町	開設場所	ボランティア活動人数・活動内容(11/4(金)11:00時点)
倉吉市	上灘公民館	93名／活動内容:ブルーシート張り、家屋の片付け
湯梨浜町	湯梨浜町役場別館講堂	7名／活動内容:ブルーシート張り、家屋の片付け
北栄町	北栄町社協	2名／活動内容:ブルーシート張り
三朝町	三朝町社協	0名
県社協	鳥取県社協	災害救援ボランティアセンター支援本部の運営 活動内容:市町の災害ボランティアセンターの支援 倉吉市:2名、湯梨浜町:1名、北栄町:2名、三朝町:0名派遣 18

生活環境部の対応 1

【対応状況】 ※第3回幹事会以降の変更箇所を下線。

<p>上・下水道</p>	<p><上水></p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 倉吉市: 復旧作業により、管路等の破損箇所は全面復旧し断水解消。 配水塔(生竹地区)倒壊の危険があり、3世帯(11人)避難中。 ・ 各 町: 断水は解消。 <p><下水></p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 下水道被災箇所が徐々に判明し、市から応援調査員を町へ派遣中(湯梨浜町)。 ・ 県浄化槽協会との協定により、浄化槽の点検を実施中。
<p>災害廃棄物の仮集積場</p>	<p>倉吉市: 1カ所。22日14時から受け入れ開始。(10/24からは9～17時受入れ) 三朝町: 1カ所。23日8時30分から受け入れ開始(8時30分～17時受入れ) 湯梨浜: 2カ所。22日13時から受け入れ開始(9～17時受入れ) 北栄町: 2カ所。22日15時から受け入れ開始(9～17時受入れ) 琴浦町: 1カ所。24日10時から受け入れ開始。(10～15時受入れ) 10/30閉鎖 ※墓石の処理については、個人処理とするよう調整。 ※県、市町村、事業者で協議(10/27)に基づき、量が多い倉吉市、北栄町でも搬出作業を開始 ※ほうきりサイクルセンター焼却炉2号炉について、焼却炉内部の耐火レンガ等が落下し運転が不可能⇒修繕に12月一杯かかるみこみ。現状は1号炉が問題無く運転中であり、処理はできている。</p>
<p>避難所宿泊者の温泉旅館でのおもてなし</p>	<p>避難生活で疲労の蓄積している避難所宿泊者を県旅館ホテル生活衛生同業組合の協力により温泉旅館・ホテル(はわい温泉・東郷温泉・三朝温泉・関金温泉)でおもてなしすることとした。 11月2日に各避難所へ利用券を配布し、11月4日から利用可能。</p>
<p>悪質商法への注意喚起など</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 県の被災地応援サイトに情報掲載。 ・ 被災者向けチラシを作成し、配布を手配済み。 ・ 被災した中部消費生活センターは、10月28日から倉吉交流プラザ相談業務を再開。

生活環境部 2

<p>応急危険度判定実績</p>	<p>10/29で判定活動終了。判定件数7,159件 うち「危険」292件、「要注意」1,203件。判定士数延べ449人。</p>
<p>り災証明</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 県建築士事務所協会、県内市町村に業務経験者の派遣を要請中。 ・ 全国自治体へ住家被害認定調査員の応援要請済み【危機管理局対応】 <small>一次判定を3週間程度で終わらせることを目標に、11月4日から応援職員による調査実施</small> ・ 11月1日開催の中部地震にかかる住宅対策会議で簡易版の調査票を用いて家屋の調査を行い、スピーディーに進めることを市町と調整。
<p>被災者住宅支援</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 被災した住居の修繕支援について、24日に被災者住宅再建支援制度運営協議会で一部損壊を対象とすることを確認。 ・ 25日の知事専決補正予算により鳥取県被災者住宅総合支援事業を実施。 被災者住宅支援補助金 助成額:30万～300万円 対象:全壊、半壊、一部損壊(損害基準判定10%以上の世帯) 被災者住宅修繕支援金 助成額:5万円(但し、4%以下の軽微な損壊は、段階的に1万円まで支援額を引き下げ) 対象:一部損壊(損害基準判定10%未満の世帯) ・ 支援金交付要綱及び申請様式を市町村へ配布済み、31日に市町村説明会を開催。
<p>住宅の提供</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 「居住していた持ち家が全壊・大規模半壊・半壊であって解体することを余儀なくされた」「居住していた民間賃貸住宅の貸主が修繕を断念する等賃貸借契約が解除された」等の場合に、入居可能な県営住宅を確保。10月26日から入居希望を受付。 県営住宅の募集戸数を追加。60戸(鳥取市内11、倉吉市内40、米子市内9) ・ 11月4日正午現在申込受付54件。本日×切後、応募者が重複していない住戸については速やかに入居手続きを実施。重複している住戸については11月9日に入居抽選会実施予定。 ・ 来週中の2次募集(県営住宅(1次募集以降改修完了分)、国機関職員宿舎)開始に向けて調整中。 ・ 中部地区の雇用促進住宅(4団地)の活用及び見なし仮設住宅についても検討中。 ・ 中部地区で約180戸、県全体では約230戸を確保の見通し。
<p>建物修繕相談窓口</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 中部総合事務所2号館(2階)に『被災建物修繕等総合相談窓口』開設。9～17時まで。 ・ 業界団体を通じた住宅修繕相談のフローについて広報。

商工労働部（被害状況等）

県内企業の被害状況の概況

※11/2 17時以降の新たな情報を下線で記載。

○ 県内の主要製造業（主要製造業約50社を調査）

- 現時点では、聞き取りを行った約50社のうち9割以上が操業を再開。
- ただし、事業所や設備が被災している企業もあり、支援策も含めてヒアリング実施中。

○ 県内の中小・小規模事業者（中部管内の商工団体会員約2,300社を対象に調査中）

商工団体が中小小規模事業者の被災状況を調査中。

<倉吉市(倉吉商工会議所)>

- ・ 会員企業約1,000社のうち約200社の被害状況調査を終え、引き続き調査を継続。
- ・ 現時点で3～4割程度(約50社)の事業所が復旧に係る個別サポートを希望している。

→※ 建物被害、機械設備被害、商品・製品被害、営業被害など、複数の被害状況を調査しており時間を要しているが、引き続き状況調査を進めていく。

<民芸関係>

- ・ 中部地区の窯元(陶芸)、工芸品(木工)等の店舗等、約10件の状況を調査。
- ・ 陶芸・ガラス工芸店では、展示品・在庫品とも揺れによる落下等で破損被害が発生。窯元ではのぼり窯が崩れて生産ができないところもある。
- ・ 赤瓦に出店している一部の工芸店は、施設被害により営業休止中。

商工労働部（今後の取組）

今後の支援

○「震災対策企業支援ネットワーク」による一体的支援（11/1～）

■ 11/1から毎週定期的に支援会議を開催（国機関も加え、連携のとれた一体支援を実施）

（メンバー） 商工団体・金融機関・保証協会・産業支援機関・国（経産局・労働局）・県

（役割） ・各機関連携によるワンストップ支援（施策情報の共有、企業相談への合同対応）

- ・復旧後の経営の安定・回復を目指した県の補助制度の活用（商圈拡大、県版経営革新補助など）
- ・売上減少等に伴う一時休業等の雇用対策への対応 等

○「知事・金融機関トップ懇談会」を通じて協力要請（11/4）

■ 地銀、信金、日銀鳥取事務所トップに知事から直接金融・営業・事業継続等の支援を要請

○ 既存予算活用及び適時の予算措置により切れ目ない支援を展開

既存予算

鳥取県版経営革新総合支援事業 鳥取県中部地震対策枠の設置検討

専決予算

「がんばる企業を応援！特別金融支援事業」

- (1) 災害等緊急資金「鳥取県中部地震対応枠」の増枠（10億円 → 50億円）
- (2) 復興支援利子補給制度の新設（5年間無利子化）
- (3) 復興支援保証料軽減補助制度の新設（5年間無保証料）

11月補正

商圈拡大・需要獲得支援事業 の増枠

地震を機に、風評被害の払しょくや商圈拡大を図る中小企業の調査・検討支援を増額

検討中

鳥取県版経営革新総合支援事業 の増枠

地震を機に、復旧・復興と共に生産体制を見直し売上拡大を図る事業者に対応

農林水産部の対応

1. 被害施設の速やかな復旧支援

- JA選果場等の共同利用施設について、国事業を活用しながら、速やかな復旧を支援(被害規模約5億円[判明分])

施設区分	主な施設名	主な被害内容	被害額(概算)
選果場、集荷場、ライスセンター、カントリーエレベーター	梨(倉吉、東郷)、西瓜(大栄)、米(秋喜、北条)	建物破損(壁・ガラス割れ、基礎)、機械破損	468,000千円
漁業施設	赤碓町漁協・県漁協荷さばき所	外壁一部崩落	1,100千円
大山乳業農業協同組合	粉乳工場	建物・工場基礎の破損	28,000千円

2. 梨の販売促進

- 中部全域で落果被害(被害額:6,272万円)。落果梨は販促キャンペーン(10/27-28)や県外自治体等で販売
- 落果しなかった梨については、都内高級販売店等での高値販売に向けて調整中

3. ため池、農地、農業用施設の災害復旧

- 被災箇所の確認作業を進めており(現段階で被災箇所:360箇所、被害額:約4億7千万円)、国・県事業を使いながら速やかな復旧を支援する

区分	主な被害場所	主な被害内容	被害額(判明分)
農地	湯梨浜町(長瀬)、三朝町(鎌田)等 <u>82箇所</u>	芝畑の液状化、水田・畑法面の崩壊	<u>75,050千円</u>
ため池	倉吉市(池ノ谷)、琴浦町(松谷第1)等 14箇所	天端クラック、連絡道の路肩崩壊、崖の崩壊	75,500千円
農道	倉吉市(大平農免)、北栄町(北条西農免)等 <u>137箇所</u>	路面クラック、法面崩壊	<u>161,660千円</u>
水路	倉吉市(四王寺)、北栄町(北条砂丘)等 <u>111箇所</u>	水路法面崩壊、水路壁クラック、パイプライン漏水	<u>117,176千円</u>
集落排水	倉吉市、湯梨浜町等 15箇所	施設の地盤沈下、施設の破損	43,035千円

4. 食糧の調達

- スーパーマーケット、コンビニ等からの手配により十分な食糧を調達(10月30日からカップ付きスープ類を提供)

日付	要請元(食数)	手配状況
<u>11月5-6日</u>	倉吉市(5日170食、6日150食)、北栄町(5日:50食、6日:40食)	コンビニ、仕出し店から、水・弁当等を調達

県土整備部の対応

1. 県土整備部所管にかかる被害、点検状況

11/4 13時時点(__は11/2 13時時点からの追加部分)

(1) 公共土木施設被害状況

○道路【通行止】県管理 全面04路線、片側10路線

片交全止 県管理 鳥取鹿野倉吉線(三朝町大瀬～倉吉市大原)→11/2 16時から片交 全ての全止箇所解消

【被害箇所】【県管理】道路57箇所、橋梁0箇所 【市町村等管理】道路43箇所、橋梁0箇所

○河川【被害箇所】【県管理】10箇所 【市町村等管理】1箇所

○海岸保全施設【被害箇所】1箇所

○ダム【被害箇所】0箇所

○港湾【被害箇所】1箇所

○治山【被害箇所】1箇所

○下水道【被害箇所】【県管理】1箇所 【市町村等管理】7箇所

○公園【被害箇所】【県管理】0箇所 【市町村等管理】10箇所

○その他施設(砂防設備ほか)【被害箇所】0箇所

□公共土木施設被害額(国交省+農水省林野庁所管分) 132箇所 2,662,250千円

被害箇所は災害
査定等に向けて
準備中

(2) 土砂災害危険箇所点検

○10/22～28日までに予定していた1,146箇所全て点検済。11/2に点検結果を各市町へ説明済。

○A(緊急対応必要箇所):10箇所、B(経過観察):59箇所、C(対応不要):1,077箇所

2. 被災宅地危険度判定派遣

○10/21～29日までに予定していたエリアの判定完了。追加判定要請を受けた箇所についても11/4+5までに判定を実施し、終了する予定。

11/3+までに4,892,785件判定(青(調査済)4,281,212件、黄(要注意)387,357件、赤(危険)224,216件)

3. その他支援状況

○屋根のブルーシート張りの人員について、県建設業協会に支援を要請し、11/3+に5548社190464人(10/22～11/3+までにのべ266169社1,004690人)が活動(追加要請を含め、11/8を目処に完了見込み)。

教育委員会（学校等の状況）

※11/4 13:00時点 前回内容と大きな変更点なし

- 1 授業の実施【県立学校（全32校）及び公立小中特別支援学校（全187校）】**
通常どおり実施
- 2 スクールカウンセラーの活動**
スクールカウンセラーを中部地区の全校に派遣。心のケアが必要な児童生徒に対してカウンセリングを実施中
- 3 兵庫県教委の震災・学校支援チームEARTH（アース）による支援活動**
「鳥取中部地震における心のケア研修会」
国内をはじめ海外においても学校を支援してきたEARTH（アース）の方に講義等をしていただき、児童生徒、教職員への適切な対応に係る研修会を実施した
【10/27(83名参加)、10/31（52名参加）、11/1（42名参加）】
- 4 学校施設・給食センター等への対応状況**
施設の復旧等について、県教育委員会も各市町教育委員会の支援を実施
(倉吉市の学校給食) 11/1～弁当持参
※民間の昼食提供や中部4町による給食支援(汁物提供)を組合わせて対応を調整中
- 5 教職員への心のケア**
教職員の心身の疲労等に対して、ストレスチェック制度やメンタルヘルス事業（公立学校共済組合）等の活用を呼びかけるなどの対応を実施

鳥取県中部地震の概況

発生日時： 10月21日 14時07分

震源： 鳥取県中部 (N35度22.8分、E133度51.3分)

マグニチュード： 6.6 (暫定値)

震源の深さ： 11km (暫定値)

【各地の震度 (鳥取県関係)】

震度 6 弱 倉吉市、湯梨浜町、北栄町

震度 5 強 鳥取市、三朝町

震度 5 弱 琴浦町、日吉津村

※この地震による津波の心配なし